

「本となかよしになろう」1年生

(オ 学校図書館の利用)

1. 題材について

子どもたちは、4月に入学してから、学校の施設に興味がある。中でも、たくさんの本がある図書室と、たくさんの本に興味を持っている。しかし、入学したばかりで、本の貸出や返却の仕方は知らない。

図書室の利用の仕方の学習を通して、「みんなで使う物」「みんなで気持ちよく過ごすためには」という意識づけをすることが大切と考え、この題材を設定した。

2. 活動の実際

(1) 事前の活動

- ・学校探検で、図書室の場所を確認し、図書室を見る。

(2) 本時の活動

①ねらい

- ・図書室での過ごし方、本の貸出・返却の仕方がわかり、みんなで使う物を大切に使うとする。

②展 開

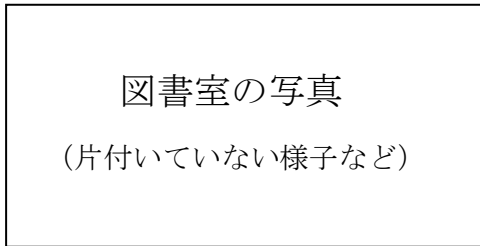
	児童の活動	評価(☆)と支援(○)	資料
導 入	1. 片づけていない本を見て、話し合う。 ・やりっぱなしは、いけない。 ・読んだ人が片づけなければいけない。	☆身近なこととして、話を聞こうとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)	・図書室の写真 (資料1)
展 開	2. 本の扱い方の説明を聞く。 3. 本の貸出・返却の仕方の説明を聞く。	○「スタンダード」や「図書室の使い方」をもとに図書室の使い方を説明する。 ○実際にやり方を見せながら説明をする。 (例) ・本の貸出・返却 ・本の出し方、片づけ方 ・本の扱い方 (落書きしたり、書き込んだりしない、ふろくなど切り取らない、汚れた手で触らない、家などでは、お菓子を食べてながら読まないなど) ○時間が合えば、図書ボランティアさんの紹介をしたり、協力をお願いする。 ○図書室のパソコンは、先生、図書ボランティアさん、図書委員の人以外は使えないことを説明する。 ☆図書室の使い方、本の貸出・返却の仕方について、理解している。(集団活動や生活についての知識・理解)	・学校で使用する「図書室の使い方」など ・本 ・実演 (資料2)
終 末	4. 本の貸出・返却の仕方や、本の扱い方などの目標を発表し、本を借りる。	☆図書室の利用の約束を守っていこうとする。 (集団の一員としての思考・判断・実践) ○実際に本の貸出・返却の仕方を確かめられるようにする。	・模造紙 など (資料3)

(3) 事後の活動

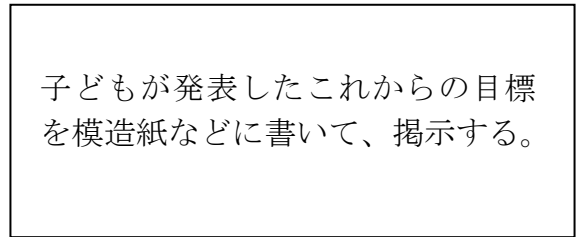
- ・図書室をクラスで利用する時間、本の扱い方、貸出・返却の仕方ができているかどうか確認する。

3. 資料

(1) 児童の意識を高めるための資料
(資料1)



(3) 実践への意欲づけのための資料
(資料3)



(2) ねらいを焦点化するための資料 (資料2)

○本の扱い方、利用の仕方の説明 (・本の様子の提示 ・借り方、返し方の実演)

①本の取り出し方 本の背表紙の上に指をかける。

かけると、背表紙がボロボロになってしまう。

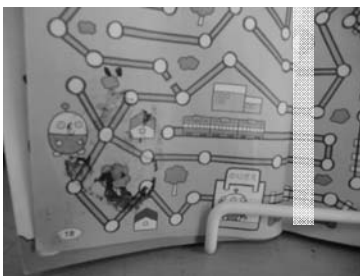


②読み途中の本は、しおりを挟むように指導する。

(本が傷んでしまうため。)



③菓子などを食べながら本を読まない。
(チョコレートが付いてしまった本)



④本の借り方



⑤本の返し方



4. 備考

図書室の利用の仕方や本の扱い方については、図書館コーディネーターや図書ボランティアとの協力指導ができるとよい。特に休み時間の貸出、返却で子どもたちと接することも多いので、ボランティアさんの名前などもわかるよう紹介していきたい。

「いろいろな本を読もう」2年生

(オ 学校図書館の利用)

1. 題材について

少しずつ本を読むことが好きな子も増え、読み終わるまでに何日もかかるような長編の本に興味を持つ子もでてきた。しかし、まだ自分の興味に合った本をなかなか見つけられず、読書の幅が広がっていない面も見られる。そこで、本には様々な種類があることに気づかせていくことで、自分なりに新しい種類の本に目を向けていけるようにしたいと考えた。

2. 活動の実際

(1) 事前の活動

- ・読書アンケート（資料1-①）に記入する。

(2) 本時の活動

①ねらい

- ・学校には、いろいろな種類の本があることについて知ろうとする。
- ・自分に合った本を考え、読書のめあてを立てようとする。

②展開

	児童の活動	評価（☆）と支援（○）	資料
導入	1. 今までの読書について振り返る。アンケート結果から気付いたことを発表する。 ・読書が好きな人が多いね。 ・あんまり読書していないな。 ・よく読む本のジャンルがかたよっているね。	○事前のアンケートの結果を知らせる。 ☆日頃の自分の読書を振り返り、読む種類が決まっていたり、偏っていたりすることに気づき、どうしたらよいか考えようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)	・読書アンケート集計表 (資料1-②)
展開	2. どんな本があるのか、学級文庫、図書室本の種類を確かめる。 3. グループで自分がよく読む本の種類や好きな理由を伝え合う。また、どうしたら新しい種類の本に挑戦するようになるか話し合う。 4. グループで話したことをもとに、いろいろな種類の本に親しむための工夫についてみんなで考える。 ・いろいろな本を読みたいな。 ・学級文庫も種類ごとに分けると、便利だね。 ・おもしろい本を学級文庫に置きたいな。	○図書室の本には、どのような種類があるのか伝える。 ○グループで伝え合う中で、自分の好きな本の種類のよさを確認するとともに、新しい種類にも目が向くようにグループで話をする。 ○いろいろなジャンルの本を手にとったり、読んでみようと思ったりするような手立てを考えさせる。 ☆どうしたらいろいろな種類の本を読むようになるか考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)	・学級文庫、図書室の本の分類表 (資料2)
終末	5. 本時を振り返り、今後の自分のめあてを持つ。	○めあてカードを記入させ、これからのめあてを持たせる。 ☆読書について考え、自分のめあてを考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)	・めあてカード (資料3)

「図書室たんけん隊！！」3年生

(オ 学校図書館の利用)

1. 題材について

3年生になると、社会や理科、総合的な学習の時間の中で、図書室の資料を使いながら調べる学習が増えてくる。そこで、図書室の使い方を理解し、分類を知ることで、自分が探している本を上手に見つけられるようになって欲しいと思い、この題材を設定した。

2. 活動の実際

(1) 事前の活動

- ・読書アンケート（資料1）に記入する。

(2) 本時の活動

① ねらい

- ・図書室の利用の仕方や分類について知り、図書室を意欲的に利用できるようにする。

② 展開

	児童の活動	評価（☆）と支援（○）	資料
導入	1. アンケート結果を見て、気づいたことを発表する。	○図書室が上手に利用できていない原因やその理由についても考えられるようにする。 ☆図書室の利用について関心を持っている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)	・読書アンケート集計表（資料1）
展開	2. 図書の分類と図書室の利用の決まりを知る。 3. 日本十進分類法で分類された本を探して記入する。	○図書室の配置図や本の背表紙を見せることで、意欲づけをする。 ○図書室の決まりや、図書の分類と配置については、図書ボランティアの協力を得ても良い。 ○全ての分類の本に触れられるようにする。日本十進分類表や本棚の地図、棚の表示、本の背表紙を見て、分類の本を探すように支援する。 ☆図書室のきまりや図書の分類について理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解) ○貸し出し中の本や図書室にない本については、担任やボランティアさんをお願いして、図書館システムで検索ができる事を知らせる。	・ワークシート ・日本十進分類表 ・本棚の地図 ・本の背表紙 ・本棚の表示（資料2）
終末	4. 活動をもとにこれまでの図書室利用を振り返り、今後の自分の課題について考え、自分のめあてをカードに記入する。	☆自分が実践できそうなめあてを考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)	・ワークシート（ふりかえり） (資料3)

(3) 事後の活動

- ・自分のめあてを振り返り、発表する。


3. 資料

(1) 児童の意識を高めるための資料 (資料1) ・読書アンケート

名前 ()
① どんなどきに図書室を使いますか？
② 図書室で本をかりたり、返したりする時に困ったことはありますか？ はい ・ いいえ
③ 「はい」と答えた人は、どんな時に困りましたか？

(2) ねらいを焦点化するための資料 (資料2)

図書室たんけん隊！！
～分るいはかせになろう～



年 組 ()

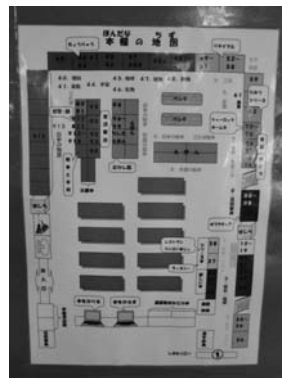
図書室にある本は、内容ごとに10種類のなかまにわかれているよ！
どこにあるのか調べて、そこにある気に入った本のタイトルを書こう！！

0るい	総記・調べる本	
1るい	哲学・宗教・道徳	
2るい	歴史・地理・伝記	
3るい	社会・民話	
4るい	理科・算数・保健	
5るい	工業・家庭	
6るい	産業・交通・通信	
7るい	図工・音楽・体育	
8るい	言葉	
9るい	文学(物語・詩)	

・日本十進分類表



・本棚の地図



・本の背表紙




・本棚の表示



(3) 実践への意欲づけのための資料 (資料3)

☆ふりかえり
これから図書室とどんなふうになかよくできるかな？



4. 備考

資料2については、表記が学校によって違うことがあるので、確認が必要である。また、分類などについて、図書ボランティアとの協力指導ができるとよい。

「こちら図書室前 BOOKS 探偵所」4 年生

(オ 学校図書館の利用)

1. 題材について

読書が習慣化している子とそうでない子の二極化を感じる。また、好みの本が偏ってしまったり、選ぶべき本を探せず迷ってしまったりと、幅広い読書活動や学校図書館の仕組みを理解していないとも感じる。そこで、友達がすすめる本を探したり実際に手に取り読んだりすることで、「新たな本」「選ぶべき本」に出会えるようになると考え、本題材を設定した。

2. 活動の実際

(1) 事前の活動

- ・読書アンケート（資料1-①）に記入する。
- ・おすすめる本がある人は、情報カード（資料3）に記入しておく。

(2) 本時の活動

①ねらい

- ・学校図書館での本の探し方について知る。
- ・いろいろな本に出会い、自分に合った本を見つけようとする。

②展 開

	児童の活動	評価（☆）と支援（○）	資料
導 入	1. 人によって読書量や好んで読む本の種類がちがうことに気づく。	○集計表を見て、読書量、本の種類について自分と比べられるようにする。 ☆読書に対する自分の特徴に気づく。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)	・読書アンケート集計表 (資料1-②)
展 開	2. 本の選び方や探し方について話し合う。 3. 情報カードをもとに本を探す。	○今までどのように本を選んだり探したりしてきたか、自分の経験から話すよう伝える。 ○適宜、「BOOKS 探偵の本の探し方」をもとに補足の説明を加える。 ○いろいろな種類の本の情報カードを事前に用意しておく。 ○本を探せない場合には、個別に声をかけたり、「BOOKS 探偵の本の探し方」を参考にしよう声をかけたりする。 ☆情報カードにある本の探し方を理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)	・BOOKS 探偵の本の探し方 (資料2) ・情報カード (記入あり) (資料3)
終 末	4. 友だちの情報カードの感想を書いたり、新しい情報カードを作成したりして、めあてをもつ。	○おすすめる本の情報カードに書いたり、友だちの情報カードに感想を書いたりできるようにする。 ☆いろいろな本に出会ったり、自分に合った本を見つけたりしようとしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)	・情報カード (記入なし) (資料3)

(3) 事後の活動

- ・情報コーナーを設置し、おすすめる本が見つかったら、情報カードを掲示していく。
- ・友だちの情報カードに感想等を記入していく。

3. 資料

(1) 児童の意識を高めるための資料 (資料1-①)

(資料1-①)

(資料1-②)

「読書アンケート」

4年組 番 ()

1. 読書は好きですか？

・はい ・いいえ ・どちらでもない

その理由は

2. 1週間で読書する時間は、何時間くらいですか？

1時間 2時間 3時間 4時間 5時間以上

ほとんど読まない

3. どんな種類の本を読むことが多いですか？

・物語 ・図鑑 ・スポーツ関係

・なぞなぞ ・絵本 ・歴史

・その他 ()

4年組 読書アンケート集計表

1. 読書は好きですか？

はい	人	本の世界が好き 時間を忘れられる など
いいえ	人	字を読むのが嫌い めんどくさい など
どちらでもない	人	何を読めばいいのか分からない

2. 1週間で読書する時間は、何時間くらいですか？

1時間 (人) 2時間 (人) 3時間 (人)

5時間以上 (人) ほとんど読まない (人)

3.

物語 (人) 図鑑 (人) スポーツ関係 (人)

なぞなぞ (人) 絵本 (人) 歴史 (人)

伝記 (人) まんが (人) 社会科関係 (人)

など

(2) ねらいを焦点化するための資料 (資料2)

(3) 実践への意欲づけのための資料 (資料3)

BOOKS 探偵の本の探し方

☆手がかりをさがせ！

不思議島のアリス

題名「不思議島のアリス」

作者「三浦 恵子 (みうら けいこ)」



背面ラベル 分類記号

9 1 3

み

作者 or 本の題名の初めの文字

上下巻などは、1・2とある

①分類のひみつ (一番左の数字の意味)

0	百科事典 など	5	リサイクル 環境 など
1	哲学 宗教 など	6	交通 通信 産業 など
2	歴史 伝記 地理 など	7	体育 芸術 漫画 など
3	社会 福祉 災害 戦争・平和 など	8	作文 言葉 英語 など
4	理科実験 宇宙 植物 動物 など	9	日本文学 外国文学 など

②本の並び方 (50音順に並んでいます。)



情報カード

4年組 ()

1. おすすめの本の情報

題名「	」
作者「	」

2. この本のここがおすすめ！

3. 読んだ人は、感想などをお願いします！

名前	感想

4. 備考

様々な種類の情報カードをあらかじめ教師が用意しておき、どの子も本が探せるようにしておくことが大切である。また、学校図書館司書教諭との協力指導が大変有効である。